

《飯能市立図書館・駿河台大学メディアセンター共同企画》

駿河台大学メディアセンター 所蔵貴重図書展

～「フリードリヒ博士旧蔵書コレクション」から～

会 場 飯能市立図書館 1 階 展示コーナー

期 間 2016 年 5 月 28 日（土）～6 月 23 日（木）



トマス・ホブズ『リヴァイアサン』（1651 年）

駿河台大学メディアセンターが所蔵する「フリードリヒ博士旧蔵書コレクション」から、歴史上著名な著作物をいくつか選んでご紹介いたします。

展示予定図書（開催期間中展示替えを行います）

1. トマス・ホッブズ著『リヴァイアサン』（1651）
2. バルーフ・デ・スピノザ著『神学政治論』（1670）
3. ジャン・カルヴァン著『ジャン・カルヴァン著作全集』（1671）
4. ジョン・ロック著『ジョン・ロック著作集』（1714）
5. マンデヴィル著『蜂の寓話、または個人の悪徳は社会の利益』（1725）
6. モンテスキュー著『法の精神』（1748）
7. モンテスキュー著『法の精神』（1749）
8. アダム・スミス著『道徳感情論』（1774）
9. トマス・ジェファソン著『アメリカ独立宣言』（1823?）
10. トマス・ホッブズ著『トマス・ホッブズ英訳著作集』（1839）

～「フリードリヒ博士旧蔵書コレクション」について～

カール・ヨアヒム・フリードリヒ（Carl Joachim Friedrich 1901－1984）博士は、アメリカの著名な政治、行政学者で、政党と権力の解明などに多大な業績を残した政治理論家として知られています。

博士は、ドイツのライプツィヒで生まれ、マーブルク大学を卒業後、ハイデルベルク大学で学位を得たのち 1922 年にアメリカに渡り、1938 年帰化、ハーバード大学教授として行政学を講じました。

第二次大戦後、占領地統治に参画、欧米諸国の政治制度に精通し、全体主義研究に傾倒しました。殊に關係説と実体説を統合した新しい権力観を樹立し、この見地から権力分割を中核とする立憲政治を考察、民主政治との関連において官僚制、権力分立、議会政治などの諸問題を研究し、高い評価を得ています。

本コレクションには、南米、ヨーロッパの憲政史資料、法哲学、政治理論史、政治哲学、社会学、行政学などの古典、及び研究書が体系的に蒐集されており、博士の該博な知識を物語る優れた内容となっています。

トマス・ホッブズ著 『リヴァイアサン』 初版 1651 刊

イギリスの哲学者、政治思想家ホッブズの主著。無制限な自然権の行使は「万人の万人に対する戦い」の状態になる。それを止揚するため、人間は理性を働かせて自然権の一部を放棄して相互に契約を結び、人々を代表する一つの意思に服従することで、国家と主権が成立すると考えた。

なお、初版には2種の偽版が確認されている。左は真正の初版、右は偽版の一つ。

Hobbes, Thomas, 1588-1679.

Leviathan, or, The matter, forme, & power of a common-wealth ecclesiasticall and civill / by Thomas Hobbes of Malmesbury.

London, Printed for Andrew Ckooke [i.e. Crooke], at the Green Dragon in St. Pauls Church-yard, 1651. 394 p.:29 cm.



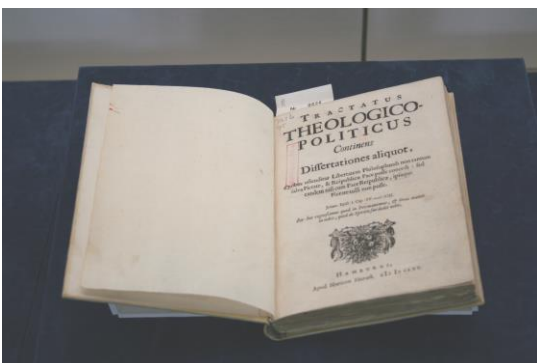
バルーフ・デ・スピノザ著 『神学政治論』 初版 1670 刊

オランダの哲学者スピノザの生前最後に刊行された著作。匿名で出版された。専制政治や神学者の不寛容に対して思想の自由を擁護したが、流神の書として激しい非難を浴び、15年の歳月を費やして完成した主著『エチカ（倫理学）』（1675 頃）も遂に刊行されることなく、この後百年余にわたり、スピノザ哲学そのものが永く葬り去られることになる。

Spinoza, Benedictus de, 1632-1677.

Tractatus theologico-politicus continens dissertationes aliquot, quibus ostenditur libertatem philosophandi non tantum salva pietate, & reipublicæ pace posse concedi : sed eandem nisi cum pace reipublicæ, ipsaque pietate tolli non posse ...

Hamburgi : Apud Henricum Künraht [sic.], 1670. [12], 233, [1] p.:21 cm. (4to)



『ジャン・カルヴァン著作全集；第1巻』初版 1671 刊

フランス生まれの神学者。キリスト教初期の宗教改革の指導者として、ルター等とともに著名なカルヴァン最初の著作集。全9巻。

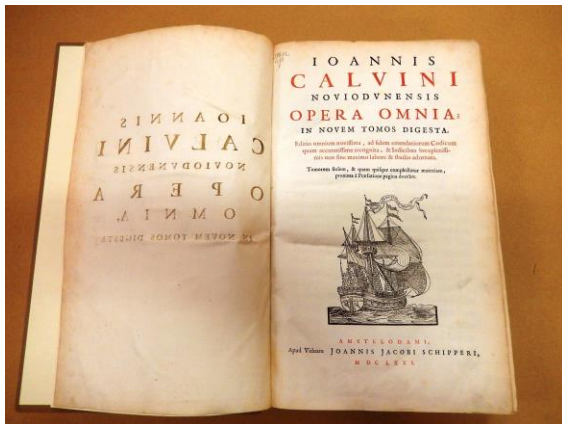
ジュネーブでは、長期にわたり権力を掌握して厳しい統治を行い、市民にも厳格な宗教的規律を求めた。異端者とされたミゲル・セルベートを火刑に処したとも言われている。

いわゆる「カルヴァン主義」はカルヴァンの説いた思想とは異なることが明らかにされているが、例えば、カトリックが卑しんだ金融業者について、職業は神の召命によるのであり、道徳的に不可としない言説など、後のマックス・ヴェーバー『プロテスタンティズムと資本主義の精神』（1904年）などに影響を及ぼしている。

Jean Calvin, 1509 - 1564

Ioannis Calvinii Noviodunensis Opera omnia : in novem tomos digesta
in 9 vols. 1667-1677

Amsterdam, Apud J.J. Schipper, 1671. 716, 62 p. 39 cm [t. 1]



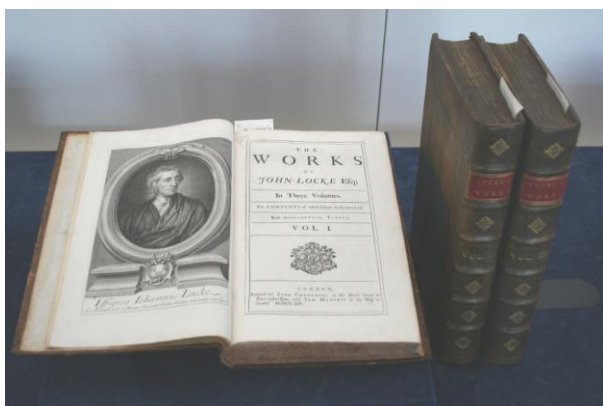
ジョン・ロック著作集 全3巻 1714 刊

イギリス経験論の哲学者、政治思想家であるジョン・ロックの死後、最も早い時期に刊行された著作集である。

Locke, John, 1632-1704

The works of John Locke Esq. in three volumes : the contents of which follow in the next leaf with alphabetical tables

London, J. Churchill and S. Manship, 1714. 3 vols.



マンデヴィル著 『蜂の寓話、または個人の悪徳は社会の利益』 第4版 1725-1729 刊

初版は 1714 年。伝統的なキリスト教道徳は、社会を単純化し活力を失わせ衰退させる、と当時の道徳を厳しく批判し、逆に個人の欲望に根ざす悪徳こそ社会全体の利益になる、と説き、アダム・スミス、ベンサム、ボルテール、モンテスキューらに影響を及ぼした。

Mandeville, Bernard de, 1670-1733

The fable of the bees, or, Private vices, publick benefits : with an essay on charity and charity-schools and a search into the nature of society. 4th ed.

London, J. Tonson, 1725, 1729. 2 vols.



モンテスキュー著 『法の精神』 初版 1748 刊

モンテスキューの主著『法の精神』は、多くの批判を受けながらも、刊行 18 ヶ月で経ずして 21 版を重ねるほどであった。共和制、君主制、専制の三政体論の分析及び執行権、立法権、司法権の均衡を説いたいわゆる三権分立論によって広く知られている。

Montesquieu, Charles de Secondat, Baron de la Brède de, 1689-1755.

De l'esprit des loix : ou du rapport que les loix doivent avoir avec la constitution de chaque gouvernement, les moeurs le climat, la religion, le commerce, & c

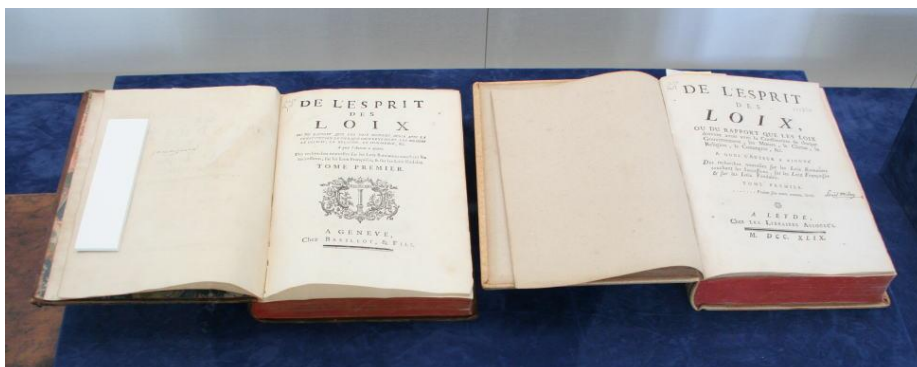
Geneve, Barillot & Fills, [1748]. 2 vols. 26 cm

モンテスキュー著 『法の精神』 1749 刊 (右)

Montesquieu, Charles de Secondat, Baron de la Brède de, 1689-1755.

De l'esprit des loix : ou du rapport que les loix doivent avoir avec la constitution de chaque gouvernement, les moeurs le climat, la religion, le commerce, & c

Leyde, Libraires Associe, 1749. 2 v. in 1:26 cm



アダム・スミス著 『道徳感情論』 第4版 1774刊

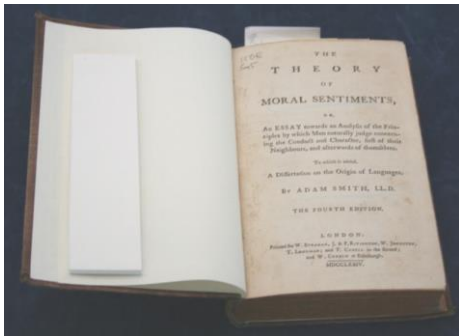
初版は 1759 年。古典経済学の創始者とされるアダム・スミスの著作で生前に刊行されたものは、『国富論』（An inquiry into the nature and causes of the wealth of nations, 1776）と本書である。

古典人文学の豊かな素養を踏まえつつ、グロティウス、ホッブズ、ロック、ヒューム、ルソーなどに学び、独自の自然法理論の展開を試みている。

Smith, Adam, 1723-1790.

The theory of moral sentiments. To which is added a dissertation on the origin of languages. 4th ed.

London, Printed for W. Strahan ... [et al.], 1774. 476 p. 20 cm



『アメリカ独立宣言』 1823?

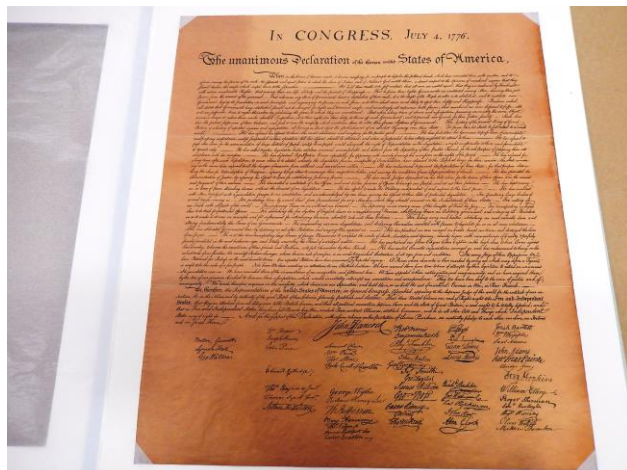
アメリカ 13 の植民地がイギリスからの独立を宣言した文書のファクシミリ版。1776 年 7 月 4 日に批准された。この日は、現在、アメリカ合衆国の独立記念日となっている。

数種類の版が確認されているが、本資料は William Stone 版に酷似しており 1823 年前後と思われる。初代大統領トマス・ジェファソン Thomas Jefferson が執筆。冒頭、ジョン・ロックらによって提唱された自然権と個人の自由の理念を踏まえ「全ての人間は生まれながらにして平等であり、その創造主によって、生命、自由、および幸福の追求を含む不可侵の権利をあたえられている」と述べられている。

[United States Declaration of Independence]

The unanimous decraration of the thirteen United States of America : In Congress. July 4, 1776.

Thomas Jefferson ...[et al.]. sine loco, [1823?] .



『トマス・ホッブズ英訳著作集；第1巻』初版 1839 刊

19 世紀に刊行されたトマス・ホッブズの英訳版著作集。1800 年代になると産業革命の進展により安価な工業製紙が普及しはじめた。その初期のものとして興味深い。しかし工業製紙は手漉き製紙などと異なり。酸性紙問題にみられるように劣化し易い。1800 年代中葉以降の書籍の大半は工業製紙である。

第1巻は1655年刊ラテン語著作「De Corpore（物体論）」の英訳。当時学術的著作はラテン語で書かれるのが一般的だった。ホッブズはスピノザ、デカルトなどとともに近世哲学の代表する人物の一人。

Hobbes, Thomas, 1588-1679.

The English works of Thomas Hobbes of Malmesbury. now first collected and edited by Sir William Molesworth. in 12 vols. 1839-1844?

London, John Bohn, 1839. xii, 532 p. 26 cm (vol. 1)

